

平成27年度文部科学省調達改善計画の概要

1. 目的

文部科学省における調達の適正性、透明性の確保、効率性の向上等を目指し、調達に関する目標設定と結果の検証・評価を実施する体制を整備することにより、PDCAサイクルによる調達改善を実現。

2. 改善に向けた取組

調達の現状分析

- ◇文部科学省における平成25年度の調達の支出構造
 - 支出原因契約(少額随契を含む) 23,055件、1,183億円
 - うち教育、研究開発等の委託契約 2,465件、692億円(59%)
 - うち汎用的な物品・役務の調達 492件、65億円(5%)
- ⇒指針の事例及び金額の割合が大きい上記2分野から重点的取組を設定

重点的取組

- 指針を踏まえた取組、事務手続の効率化に資する取組
 - ◇インターネット取引を活用した調達【新規】
 - ・少額物品を対象としたインターネット取引による調達を導入
 - ◇委託事業で取得した物品に係る事務手続の効率化【新規】
 - ・取得物品に係る所有権移転手続等のアウトソーシング
- 教育、研究開発等の委託契約の見直し
 - ◇外部有識者で構成した審査委員会による事前審査(主要35事業)
 - ◇調達情報の発信強化
 - ・教育・スポーツ、研究機関を対象にした「公募情報」をHPに掲載
- 汎用的な物品・役務の調達の見直し
 - ◇共同調達・一括調達の実施
 - ・15類型に拡大 ⇒ 比較可能な物品等を対象に、共同調達等開始の前年度と比較して約1割程度の削減を目標
 - ◇競り下げの実施
 - ・引き続き9類型を対象に実施(年間の目標実施数:30件)

継続的取組

- 随意契約の見直し
 - ・内部監査組織による事前検証、外部有識者による事後検証の実施
 - ・価格交渉の実施、実施事例の部局等への情報共有【新規】 等
- 一者応札・応募の改善
 - ・公益法人が受注した案件を中心とした点検・見直し等の実施
 - ・「随意契約事前確認公募」の活用【新規】 等
- その他の取組
 - ・不要物品の売払に係るネットオークションの活用
 - ・水道料金・ETC料金のクレジットカード決済による支払事務の効率化
 - ・出張旅費の効率化(旅費業務のアウトソーシングの実施)
 - ・半期毎の調達予定情報の提供による新規競争参加者の確保
 - ・情報システムの調達に係るCIO補佐官の助言等の活用
 - ・印刷製本業務を対象としたオープンカウンター方式の実施
 - ・省内の有益情報の共有【新規】 等

人材育成等

- ・外部有識者を活用した研修の実施による調達知識や能力の向上
- ・契約事務に関するマニュアル、チェックリスト等の更なる充実 等

自己評価

- ・上半期(4~9月)終了後及び年度終了後に自己評価を実施
- ・自己評価の結果を今後の調達改善の取組や計画の策定に反映 等

3. 推進体制

内部監査の活用

- ・事前検証、実地検査による事後検証
- ・外局等への調達改善に係る指導 等

外部有識者の活用

- ・随意契約の見直し及び一者応札・応募の改善等について、事後検証を実施
- ・計画の策定、自己評価に対する意見 等

行政事業レビュー推進チーム

- 統括責任者:大臣官房長、統括責任者(代理):政策評価審議官
- 副統括責任者:会計課長、政策課長、メンバー:各局課筆頭課長等

※本計画の実務の推進を[調達改善ワーキングチーム]が担うものとする。